

伊勢湾の船びき網漁船に注意！

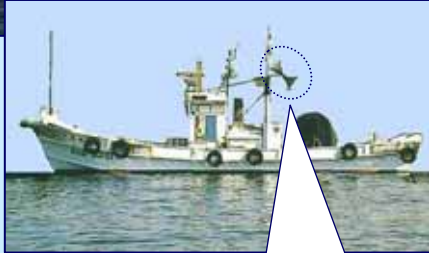
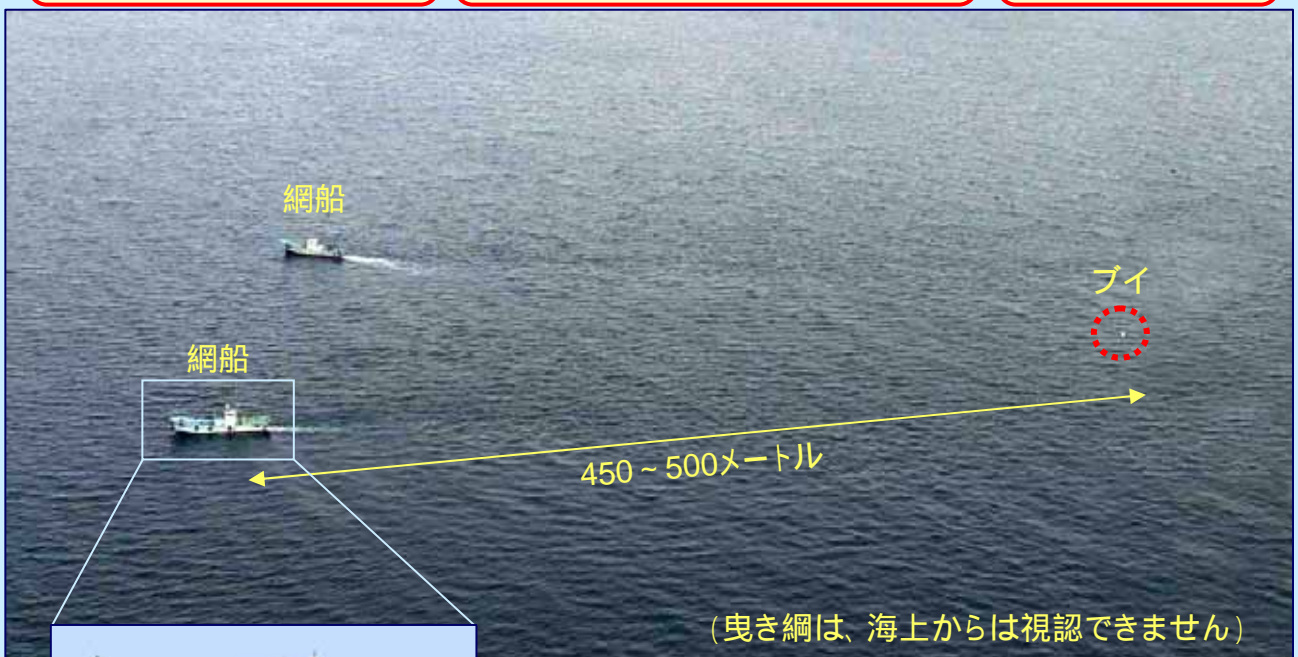
伊勢湾では、日出から午前中にかけて速力1～5ノットの漁船（8～20トン）2隻が対になり網を曳く船びき網漁業が盛んに行われています。

航行船舶が網を切断したり、漁船を転覆させる事故が発生していますので、航行船舶は次のことに十分注意してください。

厳重な見張り

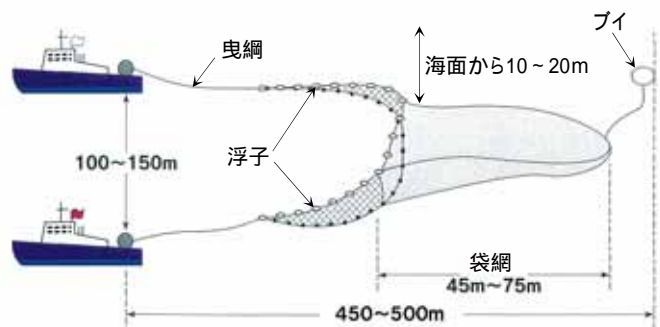
十分な距離を離す

早期避航



作業中は鼓形形象物を掲げています。

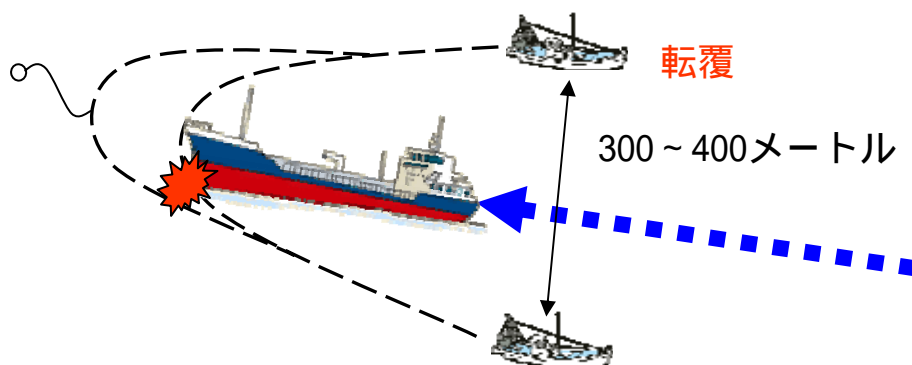
船びき網漁業作業イメージ図



船びき網漁船の海難事例

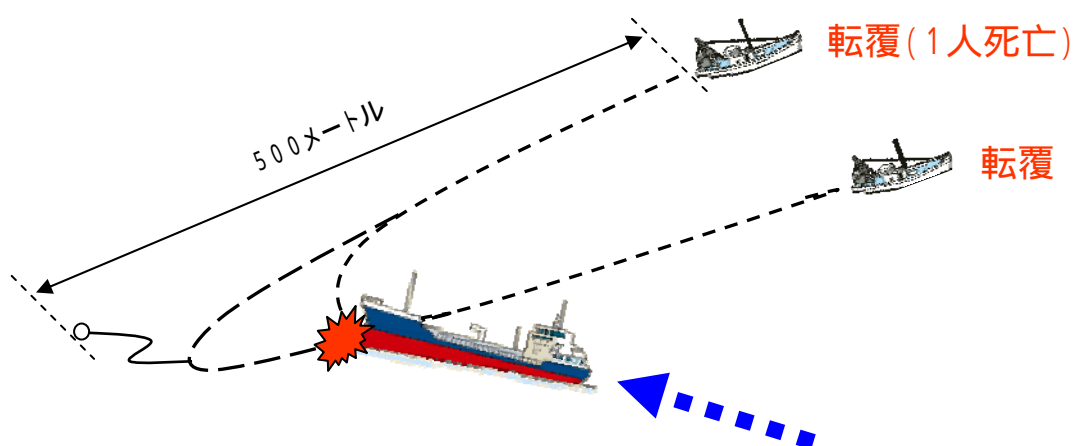
事例 1

早朝の三河湾を貨物船が航行中、前方に漁船 2 隻を発見したが、両船の間が広がったため、一そう曳き漁船と判断し漁船の間を航行、船びき網を引っ掛け、網船 1 隻を転覆させた。



事例 2

早朝の名古屋港沖を貨物船が航行中、操業中の漁船団を認めたため、減速・変針し、十分避けて航行したつもりだったが、船びき網を引っ掛け、網船 2 隻を転覆させた。



H14年1月~H20年2月までの間、貨物船等に漁網を引っ掛けられ4隻の漁船が転覆している他、転覆に至らない網の切断事故が多数発生しています。